

2024 年 6 月 24 日

西南学院大学 一般入試出題方針

I. 一般入試の趣旨・目的

- ・高等学校での教科・科目における学習の達成度を測り、大学での学修に必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」を有しているかどうかを評価する。
- ・高等学校での着実な努力による学習の定着度を評価することを主眼とし、併せて受験生個々人の資質、学びの姿勢を測るものとする。

II. 出題教科・科目（出題範囲）、試験時間、配点 ※下線部は従来からの変更点

教科		科目（出題範囲）	試験時間	配点（※1）
国語		現代の国語、言語文化、論理国語、古典探究 (いずれも漢文を除く) ※2	70 分	<u>120 点</u>
外国語		英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	70 分	<u>120 点</u>
選 択 科 目	地理歴史	<u>歴史総合</u> 、日本史探究	<u>60 分</u>	100 点
		<u>歴史総合</u> 、世界史探究		
		地理総合、地理探究		
	公民	<u>公共</u> 、政治・経済		
	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)、数学C(ベクトル)		

※1：学部によって配点がある場合がある。

※2：国語における古典(古文)は、A日程(学部指定日程)の「人文科学(神学部、外国語学部、国際文化学部)」の日程とF日程(全学部日程)においてのみ出題する。A日程(学部指定日程)における「社会科学(商学部、経済学部、法学部)」および「人間科学(人間科学部)」の日程では古典(古文)は出題しない。

Ⅲ. 出題方針(教科別)

< 国語 >

出題範囲	・A日程：人文科学(神学部、外国語学部、国際文化学部) ・F日程：全学部・学科 現代の国語、言語文化、論理国語、古典探究(いずれも漢文を除く)
	・A日程：社会科学(商学部、経済学部、法学部)・人間科学(人間科学部) 現代の国語、言語文化(古文および漢文を除く)、論理国語
出題方針	論理的文章、実用的文章、文学的文章を中心に取扱い、文章から得られた情報を正確に理解するための語彙力・読解力に加え、多面的・多角的な視点から文章を理解・解釈する思考力も評価する。また、漢字の読み書き等、実社会で必要とされる国語力も併せて評価する。 A日程(学部指定日程)の「人文科学(神学部・外国語学部・国際文化学部)」および「F日程(全学部日程)」の試験日程においては、古典(古文)も出題範囲とし、古語や古典文法に関する知識や古典の理解力も評価する。 A日程(学部指定日程)の「社会科学(商学部、経済学部、法学部)」および「人間科学(人間科学部)」の試験日程においては、古典(古文)は出題せず、近代以降の論理的文章を中心とした出題内容とする。 ※いずれの日程においても古典(漢文)は出題しない。

< 外国語(英語) >

出題範囲	・英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ ・論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
出題方針	実際のコミュニケーションやさまざまな文献・文章を理解・解釈する際に必要な「語彙」、「表現」、「文法」、「言語の働き」などの知識を習得できているかを評価することで、直接的・間接的に総合的な英語運用能力を評価する。同時に、英語で書かれた文献・文章の概要や要点を迅速に把握し、情報を正確に読み取る読解力が身に付いているかも評価する。想定する到達度はヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)・B1レベル程度とする。

< 日本史 >

出題範囲	・歴史総合 ・日本史探究
出題方針	原始・古代から近現代までのあらゆる時代から、日本の政治・外交・社会・経済・文化等について、歴史の基礎知識を幅広く問うものとするが、特に、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を重視する。 また、個別の事実に関する知識のみならず、日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、歴史的事象の意味や意義、特色や相互の関連等について、総合的に捉えて理解しているかも評価する。

< 世界史 >

出題範囲	・歴史総合 ・世界史探究
出題方針	古代文明の形成から現代に至る世界の歴史について、政治・社会・経済・宗教・思想・文化・美術・科学技術等をテーマに幅広く基礎知識を問うものとするが、特に、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を重視する。 また、個別の事実に関する知識のみならず、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら歴史的事象の意味や意義、特色や相互の関連等について、総合的に捉えて理解しているかも評価する。

< 政治・経済 >

出題範囲	・公共 ・政治・経済
出題方針	グローバル化した現代社会の諸課題を解決するために必要な、現代の倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際関係等の知識、概念や理論を幅広く理解しているかを評価する。特に、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する知識、概念や理論を理解しているかを重視する。 同時に、現実社会に見られる複雑な課題を把握する力や説明する力、身に付けた判断基準を根拠に構想する力等も評価する。

< 地理 >

出題範囲	・地理総合 ・地理探究
出題方針	現代社会の系統地理的考察および地誌的考察に必要な基本的な知識、概念や理論を理解しているかを評価する。特に、地誌、経済、文化、民族に関する内容の知識のみならず、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して理解しているかを重視する。 同時に、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に把握し、考察する力、図表などを用いたデータの解釈ができる力も測るものとする。

< 数学 >

出題範囲	・数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)、数学C(ベクトル)
出題方針	出題範囲の科目における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、論理的思考能力や計算能力などを有しているかどうか評価する。加えて、数学的な直観力、式や数学の概念を利用した表現力も評価の対象とすることから、証明問題や論証問題等の記述式問題を出題する。記述式問題は思考過程や論証能力を測るために重要であることから、解答のプロセスも重視する。

Ⅳ. 適用時期

2026 年度一般入試(2026 年 2 月実施)から適用する。

以上